みみより 39

発行日/2018年10月19日
編集・発行/堺市立健康福祉プラザ
視覚・聴覚障害者センター
聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808　堺区旭ヶ丘中町4－3－1
Tel:072-275-5024　Fax:072-243-2222
Mail mimi@sakai-kfp.info

ごあいさつ

編　希代見

早くも今年度の折り返し。下半期に入りました。今年は自然災害が多く、特に9月初めの台風21号では、堺市内でも大きな被害が出ました。今も屋根にブルーシートを敷いたお宅を各所で見かけます。被災された方々には心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早く「日常」が戻ることをお祈りいたします。

健康福祉プラザも、21号のときには停電してしまい、パソコンやFAXが使えなくなりました。また、トイレの電灯、センサーも反応せず、手動への切り替えに四苦八苦しました。暴風警報で休館になっていたため、利用者さんに不便をおかけすることはありませんでしたが、仕事は滞りました。気持ちを切り替え、「この機会に課題を洗い出そう！」と、センター内を点検しました。プラザは福祉避難所。堺市全体の取り組みはもちろんですが、自分たちでできる対策も考えたいと思います。

「みみより38号」に引き続き、冒頭のご挨拶が災害に関することなってしまいました。「いざ」というときに困らないよう、被災時の課題を出し合いながら、一緒に防災の取り組みを進めていきましょう。

お友達と楽しみました！

○パントマイム教室

8月24日(金)、夏休みの最終企画として、西尾綱巳さんをお招きし、パントマイム教室を開催しました。チャップリンの映画を見て、パントマイムに興味を持った西尾さん。学び始めて25年、あちこちで公演もされています。

自己紹介の後のミニ講演では、小道具を使ったパントマイムを見せてくださいました。「少し難しいかな？」と思ったテーマも、子どもたちにはしっかり伝わり、楽しんでもらえました。また、「桃太郎」のお話では、その表情の豊かさに、手話を学ぶ保護者から「勉強になった」との声が寄せられました。

「見えないボール」を使ってのキャッチボールや「見えないロープ」での綱引き。想像力を働かせ、子どもたちも一生懸命取り組んでくれました。

西尾さん、楽しいひとときをありがとうございました。

○宿題応援隊

今年も大阪府立大学の手話サークル「亜飛夢」から、2名の学生さんがサポーターで来てくださいました。ちょっと苦手な勉強も、優しいお姉さんに教えてもらって頑張れました。

「ろう」あるある　補聴器編

私は自分の声すら聞いたことのない重度のろうだが、補聴器を新調したときに「響き」なるものを経験する。

（音の表記はすべてイメージ）

・隣に座っている偉いさんが机の引き出しからお菓子を取る「ガサガサ」

・我が子のあくびの「あ～」

・我が子がペットボトルで遊ぶ「パリパリ」、「バリバリ」

私の耳では言葉に表せる音にはならないが、たくさんの響きがあることを耳で知った。音にびっくりする前に視野をフルに使って周りの人の動きを察知するようになり、「音が鳴り始めるぞ！」と心構えられるようになった。

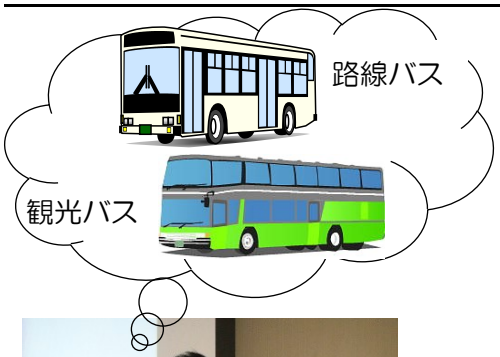
みみサロンを開催しました

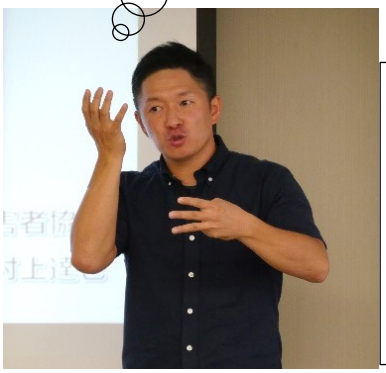
今回は京都在住の方で、「第二種免許」を取得された村上　達也さんをお呼びしました。

空港のリムジンバスを運転される聴覚障害者がニュースになったことは、まだ記憶に新しいと思います。しかし、全国でも第二種運転免許を取得された聴覚障害者はまだまだ数少なく、昨年の時点では42名とのことです。（村上さんは法改正後に聴覚障害者で初めて第二種運転免許を取得された方になります。）「道路交通法」は、２０１６年３月までの規定で、聴覚障害者の第二種免許取得には壁がありました。その規定が廃止されたことで、「バス好き」が高じた村上さんは、免許取得に向けて準備をはじめます。教習所の選択でも、はじめは大型免許に対応している所がそもそも少ないのに加え、「体制がないから」と2ヶ所から断られてしまいました。自動車学校を管轄する「公安委員会」に連絡したことで教習所も受け入れる準備をしてくれ、通うことができるようになりました。実際に、教習所では、バスを運転しながらでも教官の指示が分かるように作った合図も紹介してくださいました。

講演されている雰囲気からも「バス好き」がこちらにも伝わり、村上さんがとても輝いて見えました。しかし、憧れていた路線バスの運転手だとお客様から質問があった場合、コミュニケーションに時間を取られ、ダイヤ通りに運行するのが難しいのではないかと思い、なおさら厳しいだろうという現実も話されていました。“まずは長距離バスまたは観光バスから始めて、ゆくゆくは路線バスの運転手になれたら”という夢を持っているとのことです。

現在は、聴覚障害者協会のバスツアーなどをボランティアでされているそうです。一度諦めた夢を手にした村上さん、バスの運転手の仕事ができるいい職場に巡り合えますように！





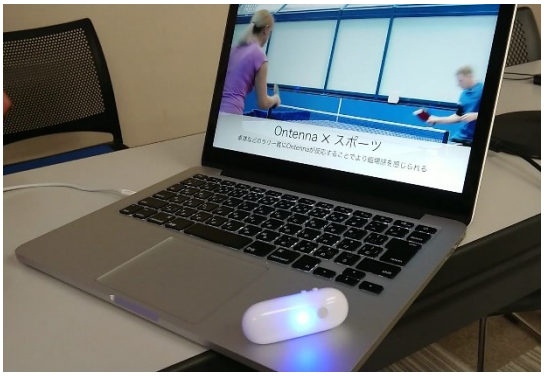
↑写真は「夢」の手話

聞こえのセミナーを開催しました

9月22日（土）のテーマは「音を感じて楽しむ」。ontenna（オンテナ）の紹介と体験会でした。若き開発者、本多達也さんは富士通株式会社ontennaプロジェクトリーダー。学生時代にろう者と出会い、いろいろなお話をする中で、音のリズムやパターンを感じることができる機器の開発に着手。それが「髪の毛で音を感じる」をコンセプトとしたOntennaです。

玄関チャイムや電話・ＦＡＸの音などの生活音を光や振動で知らせてくれる機器は以前からあり、障害者手帳１・２級の方には「日常生活用具」として給付されています。また、手帳のない方でもこれらの機器を購入することはできます。けれど、これらは屋内に設置する機械。屋外のさまざまな音を知るのは容易ではありません。また、どんな音でも同じ振動や光なので、何がどこで鳴っているかもわかりにくいです。

体験会ではontennaを髪や耳、服に付け、「卓球のラリー」、「抑揚のある能のセリフ」、「タップダンス」などの音のリズムや強弱を感じていただきました。カラオケを楽しむことも多い難聴の方々。「リズムがわからず、字幕を見ていても歌い出しがズレる」という悩みもontennaで解消できそうです。



「強弱だけでなく高低も知りたい」というご要望も、リズムを感じることができると知ったうえでの更なるニーズです。

来客やＦＡＸ受信を知ることももちろん必要ですが、豊かな暮らしや楽しみも欲しいもの。聞こえのセミナーでは、これからも聞こえない・聞こえにくい方々にさまざまな情報をお届けしていきます。

次回は11月28日。当事者が体験談をお話しします。みなさまのご参加をお待ちしています。

もじサロン「わいわいおしゃべり会」を開催

8月25日（土）参加者４名。人数が少ないのでシーンとしたらどうしよう…と不安でしたが、日ごろから聞こえにくくて会話ができないみなさんなので、始まってすぐに話が弾みました。

一つ目のテーマは「防災について」。台風が去ったばかりのときだったので、堺市危機管理室から「震災情報ファックス」が配信されることなど、情報交換ができました。二つ目のテーマは「食について」。漬物の話をしました。

途中から参加された方から、「補聴器が合わないので集音機を申込み、先ほど自宅に届いたのでつけてみた」とお話があり、話題は聞こえがテーマに。やはり、聞こえに関する情報は一番の関心事で、補聴器や集音機を試している方の話を聞くという形になりました。

今回も「パソコン要約筆記」付き。通訳の文字を読みながらの会話だったので、筆談とは違って情報量が多く、楽しめました。

もじサロン 筆談会の部

文字で内容を確認しながら、おしゃべりを楽しむ交流の場です。

７月５日　参加者３名
　テーマ「震災の話」
９月１日　参加者１名
　テーマ「日常生活用具」
10月６日　参加者２名
　テーマ「すもう」など

次回は
11月10日（土）
12月13日（木）
午後２時から４時
２階 研修室にて
事前申込不要です。
毎月開催しています。
お気軽にご参加ください。（担当：芦田・阿部）

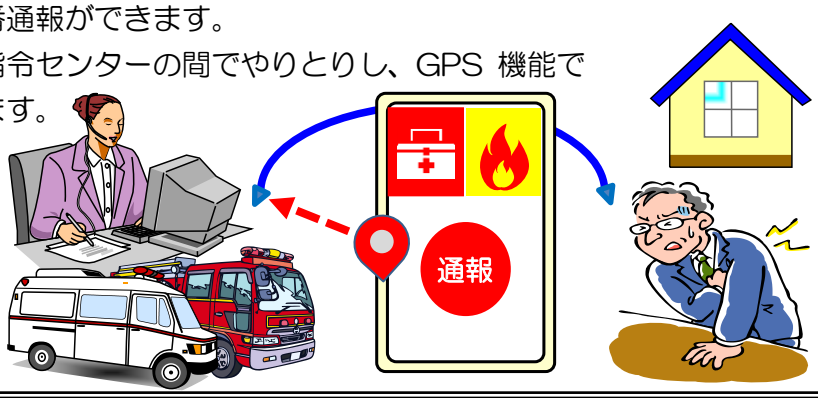
堺市消防局からのお知らせ

「Net１１９緊急通報システム」2019年３月に運用開始!!

聴覚・言語機能障害のある方に対応した１１９番通報システム「Net１１９」を来年３月に開始します。

- スマートフォンやタブレットを利用します。
- 声が聞こえなくても、文字で１１９番通報ができます。
- 「チャット」を使って、通報者と消防指令センターの間でやりとりし、GPS 機能で自分が居る場所を伝えることができます。

2019年３月に登録説明会を行います。
詳しくは堺市消防局通信指令課へ。
　TEL２３８－６０５３
　FAX２２３－７４７３



手話奉仕員・通訳者養成講座

市民向け講座　開講しました

昨年、堺市内の３区で開催された短期の手話講習会。今年度は、10 月に北区・中区、11 月に西区・東区で開催です。たくさんの方からお申込をいただきました。毎回、楽しく学んでいただけるよう講師も頑張っています。手話ができる方が増え、交流の輪が広がるよう願っています。

要約筆記者養成講座

要約技術を磨いています

10 月から専門的な要約技術を学びます。

毎回学びの積み重ねで、学んできたことを生かしながら要約のトレーニングをしています。受講生の顔つきも変わってきました。かっこいい！

センターの行事

１１月　９日(金)　13:30～16:30
「補聴器相談」　※予約制

１１月１７日(土)　14:00～16:00
「みみサロン」　※事前申込
手話の秋を楽しみましょう

１１月２４日(土)　14:00～16:00
「保護者学習会」　※事前申込
ろう・難聴児のことばの発達
※１歳以上の保育あり

１１月２８日(土)　14:00～16:00
「聞こえのセミナー」　※事前申込

１２月　８日(土)　10:00～16:00
「障害者週間フェスティバル」
聴覚機器の展示・体験会
ミニ手話教室。絵本読み聞かせ
口話ゲームなど

１２月１４日(金)　13:30～16:30
「補聴器相談」　※予約制

毎週木曜日　12:30～12:45
ミニ手話講習会「手話っぴぃ」

ビデオライブラリーのおすすめ

**「RSK地域スペシャル　メッセージ
聴こえない子を救いたい～岡山かなりや学園～」**

1975 年、全国初の私立の難聴幼児通園施設「岡山かなりや学園」が発足しました。会話力、自立力を育むことが目的です。０歳から６歳までの難聴児を教育し、今までに 400 人以上が卒園しました。学園出身のダンサーの女性や、通園中の児童の様子を紹介。生後すぐに行われる聴力検査や、人工内耳についても紹介しています。

**「スペシャルドラマ　返還交渉人
～いつか、沖縄を取り戻す～」**

第二次世界大戦に敗れ、アメリカの統治下にあった沖縄は、米軍のベトナム出撃の拠点となり核兵器も配備されていました。海軍の通信士官だった千葉一夫は、戦後外交官になり「必ず沖縄を取り戻す」と固く決意。何度も沖縄に赴き、島民の声に耳を傾け、粘り強くアメリカと交渉を重ねます。

頑張っています　手話通訳・要約筆記登録者

実施済
要約筆記者研修会・実技研修会(PC)　9/26
手話通訳者技術研修　A対象 8/2・9/6・10/4
BCD 対象 8/9・9/13・10/11

登録者合同研修会　10/27「医学の基礎知識Ⅲ」
手話通訳者研修　11/20「ピア・グループスーパービジョン」
手引き研修(合同)　12/1「盲ろう者への支援について」
要約筆記者研修　12/15「事例検討」

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
8月	派遣数	２２３件	１２件	１２件	１３件	１１人	４６本
	派遣人数	２２７人	２４人	１７人	４０人	新規登録者：０人	
9月	派遣数	１９５件	１３件	２０件	９件	１４人	３１本
	派遣人数	２１４人	２２人	３４人	２６人	新規登録者：０人	